



田尻町議会だより

# たじりの風

8703

Vol.109

平成28(2016)年  
11月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



9月10日、11日

宮城県

大崎市にて



## 主な内容

- ★ 一般質問 ..... 2 頁
- ★ 委員会報告 ..... 5 頁
- ★ 「交流推進宣言」の調印にあたって ..... 9 頁
- ★ この人にインタビュー ..... 10 頁

# 一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 田尻町内全公園と通学路に防犯カメラ増設を
- 金田 裕治 議員 1. 地区会加入率の向上について
- 明貝 一平 議員 1. イベント助成金などのまちづくり活性化策を問う
- 東 小夜子 議員 1. B型肝炎予防定期接種化の対応について  
2. 難病患者の救済について  
3. 環境美化の推進について
- 吉開 育子 議員 1. 田尻町における子どもの貧困の実態調査を求める  
2. 就学援助費の拡大を  
3. 「子ども食堂」の実施について

ちょっと教えて(P10)

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

## 問 町内全公園と通学路に防犯カメラ増設を

答 啓発を進めて住民の皆様と協働して取り組んでいく

問 平成27年3月の一般質問で通学路に防犯カメラの設置をという内容で質問した。平成27年度中に10台増設したが十分とは言えない。田尻町は犯罪発生率が関空島内を含めると大阪府内で最も悪い。「日本一安全な町、田尻町」を目指すなら町内全公園にも防犯カメラを配備し、ふれ愛センター大阪側駐車場やまだ設置していない通学路に、合わせて30台ぐらい増設してはどうか。

答 **生活環境課長** 町中に設置している防犯カメラは現在27カ所、52台ある。犯人検挙につながる有

力な器具として認識しているが、本町の市街地を考えたときほぼ効果的な設置ができていると考えられ、より効果を発揮するよう防犯カメラ稼働中の看板を設置している。地区連合会からも防犯カメラの増設の要望を受けており、必要に応じて設置する方向で考えているが、安全なまちづくりを進めるには防犯カメラによる監視に頼るのではなく、地域住民一人一人の防犯意識の向上と啓発を進め住民の皆様と協働して取り組んでいく。





金田 裕治 議員

**問** 地区会加入者にごみ袋を配布する公約の進捗は

**答** 現在検討中である

**問** 地区会の加入率が上がれば、災害時の互助組織化や高齢者の見守り活動が行えたりと様々な施策展開が可能であると考えます。加入率向上策の1つとしてごみ袋の無償配布を公約に掲げていたが、その後の進捗はどうなっているのか。

**答** **企画人権課長** ごみ減量化のために指定ごみ袋を有料化しており、それとの整合性や1月から泉佐野市がごみ袋の無償配布を実施しており、その結果がまだ確認できていないなど、様々な支障がある。

**問** 泉佐野市の結果をふまえて、ごみが増えていなければ実施できると考えていいのか。

**答** **企画人権課長** ごみ袋の無償配布を行うとごみ減量化の仕組みに少なからず影響を及ぼすものと考えている。

**問** ごみ袋の無償配布以外に、地区会の加入率を向上させるような案は考えているのか。

**答** **企画人権課長** 思いついていないのが現状であるが、地区会の加入率向上はまちづくりを行っていく上では非常に重要なものであると感じているので、継続して何らかの方策を検討していきたい。



明貝 一平 議員

**問** イベント助成金などのまちづくり活性化策を問う

**答** 中間組織のあり方や条例等の協議を進める

**問** 平成22年、24年に続いて3度目の同じ質問になるが、まちづくり助成金の進捗は。

**答** **企画人権課長** 中間組織の構成メンバーや予算確保の協議を進めているところである。

**問** 6年間考えても良策が見つからない。まだ考え続けるのか。

**答** **企画人権課長** 組織構成は社会福祉協議会を受け皿にする方法もあるので、続けて協議していく。

**問** 予算は町民税の減税をするのに予算確保も出来ないのか。

**答** **町長** 町民税の減税は移住や定住促進のための施策なので、ボランティア精神の育成やイベント助成はそれとは別に進めたい。





東 小夜子 議員

**問** B型肝炎ワクチンの対象年齢拡大を

**答** 国基準で実施する

**問** これまで1回あたり8千円から1万円かかる任意接種であったB型肝炎ワクチンが、今年10月から4月1日以降に生まれた0歳児を対象に全額公費負担になる。しかし接種のスケジュールは生後2ヶ月を過ぎてから3回が推奨され、順調に進んでも5ヶ月かかる。4月から7月に生まれた乳児は無料で接種できる期間が短くなる。平成27年10月2日から平成28年3月31日生まれの0歳児も対象外になる。定期接種化の初年度対象者に限り対象年齢枠を拡大し公費助成するべきでは。

**答** **健康課長** 今までも定期接種は国が決めた基準で実施しており、予防接種による健康被害に対して、国による救済制度が適用されない中での

実施はリスクが高く予定していない。

**問** 指定難病以外の難病患者の救済は

**答** 検討していきたい

**問** 難病になると長期的療養をしなくてはならず、患者は大きな負担を強いられる。公明党の推進により平成27年7月から助成する難病（指定難病）の種類も306になった。しかし助成されなかった病気もある。医療費の自己負担を少なくする救済策を町独自で考えるべきでは。

**答** **町長** 難病を患っている方の思いは話を聞いてつらくて大変だと思った。町独自でできるだけのことをという思いはあるが、すぐにはできかねる。町独自でカバーしていけるのかは検討していきたい。



吉開 育子 議員

**問** 子どもの貧困調査を求める

**答** 大阪府の実態調査結果をみて検討する

**問** 子どもの相対的貧困率は、過去最悪の16.3%で6人に1人の子どもが貧困に該当する。母子家庭などのひとり親世帯の子どもの貧困率は54.6%と、2人に1人を超えており深刻な状況である。貧困の連鎖を防ぐため、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が2013年6月に交付され、「大綱」が定められた。地方公共団体は子どもの貧困対策に関し、国と協力しつつ地域の状況に応じた施策を策定し、実施する義務を負うことになった。田尻町において子どもの貧困の実態調査を行い、必要な対策をとるべきである。

**答** **こども課長** 今年度大阪府が実態調査を行うので、その結果や動向を見てから町独自の調査をす

るかどうかを検討する。

**問** 食事と団らんを提供する子ども食堂の実施を

**答** 居場所づくりは考えていかなければならない

**問** 子どもがひとりで夕食を食べるなど、さまざまな理由で満足に食事をとれない子どもたちに居場所として食事と団らんを提供することも食堂を実施する自治体が増えている。泉大津市では、子ども食堂を昨年から月2回実施、泉佐野市でも今年度始める。田尻町においても、子ども食堂の実施を求める。

**答** **町長** 田尻町で行政として実施しなければならない子どもの数を把握しないと具体的にはできないが、居場所づくりを考えていかなければならないと思っている。ふれ愛センターの活性化と一緒に考えていけるようになればいいという思いがある。

# 委員会報告

## 総務建設常任委員会

委員長 大門 久 恭

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。 (9月8日開催)

### ◎平成28年度田尻町一般会計補正予算 (第2号) の件

(3億985万8千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 三世代同居・近居 新生活スタート助成事業の住宅の取得や借り入れをともなわない場合の申請において不正申請を防止し、適正な事務執行ができるのか。

**答** 引っ越し業務の契約書や領収書を必要としたり、住まいを親元同居に限定するなど、不正な申請が出来ないように要綱等において定める。

**問** 子どもがいない新婚家庭の場合、三世代とならないがこのような場合、本制度の対象となるのか。

**答** 本制度は将来的な三世代同居・近居生活を視野に入れたものであり、共に40才未満であれば対象とする。

**問** 新築時の住宅ローン利率の優遇策についても、今回の制度と同時に実施すべきである。

**答** 現在、制度設計をしているところであり、また、銀行とも調整中である。

## 文教厚生常任委員会

委員長 明 貝 一 平

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。 (9月9日開催)

### ◎田尻町附属機関条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 田尻町多目的グラウンド及び田尻町営プール指定管理者候補者選定委員会委員の選考について、どのようなメンバーとなるのか。

**答** 学識経験者及び利用者団体から推薦された者を委員と考えているが、公平を期するため公表は差し控えたい。

**問** 指定管理者ではなく、町直営で運営すべきと思うが如何なものか。

**答** 経費削減、民間ノウハウの活用等効果があり、これまでと同様指定管理者を導入していく。

### ◎田尻町税条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 個人住民税の10%減税の実施に至った経過は。

**答** 町長公約により10%という減税率が示され、実施方法等について名古屋市の事例も含め、調査、研究していく中で今回の議案提出となった。

**問** 納税者には減税額がわかるのか。

**答** 納税通知書に減税前後の金額を記載する予定である。

**問** 10%減税だけでは「住んで良かったまち」「住んでみたいまち」と皆が感じるのか疑問であり、更なる定住につながる施策を行っていくべきと考えるが。

**答** 本施策だけでなく、福祉・教育等の充実を図っていくため、議会議員はじめ多くの方からのご意見を拝聴したうえで総合的に考えていきたい。

### ◎田尻町手数料条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 本条例改正により、介護保険の被保険者に影響は出るのか。

**答** 事業者は、行政の指定を受けた事業から収益を上げる。受益者が特定される事務について、手数料を徴収するもので、被保険者には直接影響はない。

### ◎平成28年度田尻町一般会計補正予算 (第2号) の件

(3億985万8千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** マイナンバーカードの発行に際し、多くのトラブルが発生していると報道されているが、田尻町においての状況と現時点での発行数は。

**答** 当初、システム障害が度々発生していたが、6月には全て解決し大きな影響はなかった。なお、8月末現在での発行数は651枚である。

**問** 不動産鑑定委託料の算出根拠は。

**答** 路線価より用地費を想定し、その価格に応じた委託料を計上している。

**問** 介護ロボット導入促進事業補助金について、どこの施設がどのようなロボットを導入するのか。

**答** フィオーレ南海から導入計画が示され、認められたものであり、要介護者をベッドからベッドへ移すためのロボットと聞いている。

◎平成28年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）の件

（1,515万5千円の増額） 【全会一致で可決】

**問** 子育て世帯に対する国民健康保険料の優遇支援策はないのか。

**答** 国民健康保険料は被保険者数や所得により賦課されており、子育て世帯への優遇支援策については現法令上においては難しい。

◎平成28年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件

（18万3千円の増額） 【全会一致で可決】

・平成27年度の保険料の確定に伴うものが主な補正予算である。

◎平成28年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第1号）の件

（420万6千円の増額） 【全会一致で可決】

**問** 今回の補正予算で、介護給付費準備基金積立金が326万3千円計上されているが、現在の基金残高はどうなっているのか。

**答** 第5期介護保険料の上昇を抑えるために、基金を全額取り崩し充当したため、基金残高は今回補正額の326万3千円となる。



## 決算特別委員会

委員長 中川達夫

決算特別委員会に付託された案件の審査結果、並びに経過報告。 （9月12、13日開催）

◎平成27年度田尻町一般会計決算認定の件

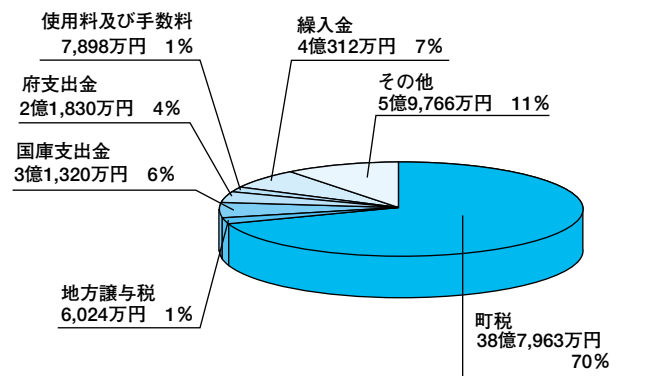
【全会一致で認定】

### 歳入

**問** 年々、空港島内の田尻町分の土地はふえてきているが、LCCの第3ターミナルができて、あまり残っていないと思う。今残っている分は幾らあるのか。

**答** LCCの第3ターミナルは、平成30年度に7,000万円の固定資産税を見込んでいる。詳細の面積についてはまた追って調べたいと思うが、まだわかっていない。

### 歳入

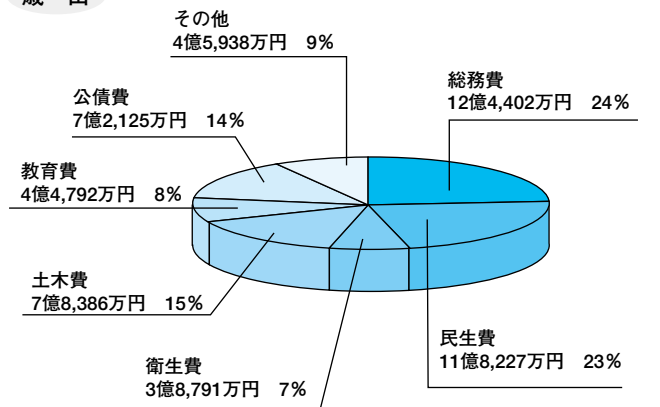


### 歳出 総務費

**問** 住民基本台帳カード発行委託料はいつまで委託料が発生するのか。

**答** 住民基本台帳カードは、今回の決算については16枚発行した。新規再交付は平成27年の12月末をもって廃止されているので、今後はマイナンバーカードの交付がメインとなってくる。

### 歳出



**民生費**

**問** 保育士を確保することに対してどのように考えているのか。

**答** 保育士については、3交代制から2交代制に変えたり、賃金を1,050円から1,100円に上げさせていただいた。その結果、今年度の4月1日現在で37名の嘱託員全員を確保できた。27年度は人が足りず、委託をしたが、現在は人の確保については順調にいとっていると考えている。

**衛生費**

**問** 各種検診委託料についてその詳細と人数は。

**答** 各種検診委託料の詳細として、検診の受診人数は結核検診が475名、肺がん検診が437名、肝炎検診が105名、胃がん検診が350名、大腸がん検診の集団検診が424名で個別検診が189名、子宮がん検診の集団検診が153名で、子宮がん検診の個別検診が237名、乳がん検診の集団検診が151名で、個別検診が51名、骨粗しょう症検診が155名、歯周疾患検診が31名である。

**商工費**

**問** 企業誘致促進奨励金は5年間だったと思うが、経過はどうなっているのか。

**答** 該当する企業は5社あり、1社は28年度、2社が29年度、1社が30年度、32年度に最後の1社が終了する。

**土木費**

**問** 本町の田尻川は水門があり、津波等について管理をしているが、和歌山側にある樫井川の管理状態はどうなっているのか。

**答** 田尻川は町の中心にあるので、状況を把握しながら排水機場の日常管理もしているが、樫井川は、水門等がないので、基本的にはそのまま自然放流される河川だと思っている。ただ、当然高潮や、上流からの水もしくは津波等については、両サイドにある護岸の整備によってその機能を果たしていると同っている。

**消防費**

**問** 本町は泉佐野消防署の出張所だが、田尻町の出張所を支署化するように今後はどのように考えているのか。

**答** 泉州南広域消防組合については、平成25年に3市3町が統合された。その組合設立時において、泉州南ブロック広域消防運営計画が定められており、その中で田尻出張所も含めた配置について検討が行われている。本町においても消防体制の充実・強化、消防力の向上、大規模災害時の体制強化のため、支署等に移行するよう引き続き協議を行っていきたいと考えている。

**教育費**

**問** 今、文科省の方から全国の市町村教育委員会に、部活動に休養日を設けるように促してきているが、本町としてはどう対応するのか。

**答** 学事課は教職員の福利面を担当しているので、その面からご説明させていただくと、教職員の体調管理をすることが一番懸念されるところで、全国的にもよくマスコミでも取り沙汰されているように、確かに子どものため、それから、クラブ活動が中学校における子どもたちとの大きな接点であるということも踏まえても、時間的にはかなり行き過ぎた分があるのではと認識している。

小学校は、教職員の残業が非常に多いということで、中学校においても今、各教職員の時間管理というのを、各校長がその管理をしっかりしていただくように改めて申し上げさせていただき、その上でやはり一定時間数を超えた方については指導あるいは産業医への面談という形も指導するようにしている。

◎平成27年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件 【全会一致で認定】

**問** 前期高齢者である、65歳から74歳までで、その医療用諸費が5,000万を超える増加になったと聞いたが、どういうものが療養費を押し上げて原因になっているのか。

**答** 難病の患者や特定疾病の患者がふえているというのが現状である。もう1点がC型肝炎等の薬剤が高額な薬剤費になるので、その辺が高額療養費として増加しているのが要因だと考えている。

委員会報告

◎平成27年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件 【全会一致で認定】

**問** 軽減がかかっている方の内訳や人数は。

**答** 9割減免は201名で、8.5割は203名、5割が61名、2割が89名である。

◎平成27年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件 【賛成7、反対2で認定】

**問** 平成27年度の介護保険料は26年度と比べてどれだけ増加しているのか。

**答** 約2.9%の増となっている。

**反対討論** 平成27年度に第6期の保険料が決定され、町民670名余りの請願を受けたが本議会において原案が可決された。しかし、委員会においては、条例案が否決された経緯がある。

政府は20歳からの保険料徴収や要支援1、2を一般事業に移行し、要介護1、2を保険事業から外すことなど、国会に提出する動きがあり、物価高騰が続く中、年金が下がり、介護保険料まで上がれば、高齢者の暮らしが、益々苦しくなる。

また、保険料の高騰を抑えるため一般会計から繰り入れ、保険料を低く抑えている自治体も少なくないことから、提案議案については反対する。

**賛成討論** 介護保険制度は高齢者の介護を社会全体で支えあう、本当によくできた制度である。

町として、高齢者が外出しやすい環境や介護予防という観点から各種事業を展開することにより、介護保険料はもとよりすべての社会保障費も下がってくると考えているので、賛成する。

◎平成27年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件 【全会一致で認定】

◎平成27年度田尻町水道事業会計決算認定の件 【全会一致で認定】

**問** 広域水道への加入の現時点での状況と、泉南市との緊急連絡管布設工事はどこに布設したか。

**答** 1点目の統合の協議は、現在の状況としては、今年の8月、大阪広域水道企業団でコンサル委託をかけ、同月中には本町から水道施設等のデータや、固定資産台帳等のデータを提供した。現在はまだ分析中で、報告は上がってきていないので、出来上がり次第、中間報告をしたいと考えている。

もう1点の泉南市の緊急連絡管の場所は、東拓のちょうど真ん前のところに泉南市と本町の管が並行して走っているのので、そこにバルブをつけて、いざという時のお互いの相互応援という形で施工をした。



審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部順行	明貝一平	吉開育子	小川雄司	東小夜子	中川達夫	大門久恭	小林健治	金田裕治	坂口実
平成27年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件	認定	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし



## 「交流推進宣言」の調印にあたって

大崎市の伊藤市長はご挨拶の中で「地元紙で市長の1日の動向を見た青年が、『大阪の田尻町の町長さん達が来られるんですか。私も中学の時に大阪の田尻町に行ってお世話になりました。よろしく言って欲しい』と声をかけてきた」とのことでした。また、旧田尻町選出の議員さんの方々が熱心に大阪田尻町との交流推進を主張されたことにも後押しされ「合併後10年間は身内の結束を強めることに心血を注いできましたが、ようやく遠い『親戚』の皆さんとも交流を積極的に進められることになりました」と述べられました。私も「私たちも合併して宮城の田尻町がなくなり、あまりに大きな市になられたので遠慮がありましたが、震災を期に交流が再開され、交流推進宣言の調印に至ったことは感慨深いものがあります」と挨拶しました。

これからもより一層交流を深めていきたいと思いました。

田尻町議会議長 小川 雄司



### 友好都市提携25周年記念 交流推進宣言書

宮城県大崎市と大阪府田尻町は、平成3年10月10日に旧宮城県田尻町と大阪府田尻町が友好都市提携した際の「友好都市宣言書」の精神を引き継ぎ、友好都市提携25周年の節目を記念し、教育、文化、経済等の交流を通じ、相互の理解と親善を深め、友好関係を発展させ、もって両市町の繁栄を目指すことを、ここに宣言する。

平成28年9月11日

宮城県大崎市長 伊藤 康志

大阪府田尻町長 栗山 善政

## 意見書

◎豊かな海づくり大会の大阪府開催を求める意見書 全会一致で可決

### 趣旨

大阪府を「全国豊かな海づくり大会」の開催地として選定されるようにすること等。【一部抜粋】

提出者：金田 裕治 賛成者：明貝 一平

提出先：内閣総理大臣／総務大臣／農林水産大臣／大阪府知事

## この人に インタビュー

田尻町地区連合会

会長 ちゃ たに えい じ 茶 谷 英 治さん (54)

Q 連合会会長になったきっかけは？

A まず隣組の班長が回ってきて、地区委員となったのがきっかけで嘉祥寺地区長を引き受けることになり3年就任しました。地区連合会では副地区長でしたが昨年の秋、連合会会長が町長選挙に出られ辞められたので、今年3月まで会長代行を務めたことから4月に連合会会長に推され、就任となりました。

Q 会長として力を入れたいことは？

A これからは防災防犯です。津波避難の訓練は3年間実施したけれど、津波ではない地震だけの避難訓練や救援の仕方など嘉祥寺、吉見、りんくうの3地区それぞれで訓練ができないかと思っています。

Q 地区会より町民の皆さんへアピールしたいことは？

A 「地区会をもっと活性化しては」という意見があり、今年5月5日子どもの日にだんじりとやぐらのふれあいイベントをやりました。それが活性化につながるのかわかりませんが、これからも「活性化」を考えていきたいです。



## 田尻町議会の チョット教えて

Q 子ども食堂ってナニ??

A 主に貧困家庭やひとり親家庭の子どもといった、十分な食事を取れなかったり、一人で食事をしていたりする子どもたちを対象に、栄養バランスの取れた食事や地域の人々とのふれあいの時間を無料または安価で提供する取り組みのことです。ボランティアが中心となって活動をしているところが多いですが、近年では自治体も取り組みに動きだしています。